

平成30年度 審判講習会・レフェリーキャンプ（審判研修会）実施計画

1 日B・日C審判講習会実施計画

- | | | |
|-------------------------|------------------|-----|
| ○第1回(6人制)北海道大学春季リーグ総合大会 | 5月 5日(土)～ 6日(日) | 札幌市 |
| ○第2回(9人制)北海道実業団リーグ | 5月26日(土)～27日(日) | 深川市 |
| ○第3回(6人制)北海道大学秋季リーグ総合大会 | 10月13日(日)～14日(月) | 帯広市 |

2 レフェリーキャンプ（審判研修会）実施計画

- | | | |
|--------------------|---------------------|------|
| ○9人制キャンプ（全道市役所大会） | 8月25日(土)～26日(日) | 芦別市 |
| ○サマーキャンプ（ニセコ町長杯） | 8月10日(木)～11日(祝) | ニセコ町 |
| ○オータムキャンプ（横田杯） | 9月16日(日)～17日(月) | 帯広市 |
| ○ウィンターキャンプ（高校男子合宿） | 12月25日(火)～26日(水) | 深川市 |
| ○基礎講座 | H31 2月23日(土)～24日(日) | 札幌市 |

3 講習会、レフェリーキャンプテーマ

- ① 審判員は、競技規則を理解するだけでなく、正確に適用する。
- ② 審判員は、吹笛やハンドシグナルを大切にし、基本的な動きや位置取り、手続きを確実に行う。
- ③ 審判員は、向上心を持ち、日頃から信頼されるよう多くの経験を積む努力をする。

4 重点指導項目

(1) 主審

- ① 競技参加者の不法な行為に対しては、毅然とした態度で競技規則を適用する。
- ② ハンドリング基準の確立。
- ③ サービス許可は、前のラリー終了後、両チームの準備ができ、サーバーがボールを保持している状態であれば、およそ8秒で次のサービス許可をする。

(2) 副審

- ① 不法な行為について、ネット際、ベンチ等の主審が気付かない不法な行為があれば主審に伝える。
- ② ポジションの反則について、サービスヒットの前に移動したり、明らかに入れ代っているなどを見逃さない。
- ③ 中断の要求については、ゲームの流れを読むとともに、ワンラリー毎にベンチコントロールを行う。

(3) スコアラー

- ① サービス順及び得点の確認をしながら、正確に記録を付ける。疑わしい時は試合を止め、アシスタントスコアラー等に確認をしてミスの無いようにする。
- ② 選手交代は確実に選手番号（または○印）とその時の得点を記入する。

(4) アシスタントスコアラー

- ① スコアラーと声を掛け合って、交代選手の番号や得点を確認し合う。
- ② 不法なりベロリプレイメントがあれば、サービス許可のホイッスルのあと、すぐにブザーを鳴らす。

(5) ラインジャッジ

- ① 担当するラインの判定を確実に行う。ボールコンタクトは確実に見えた場合に限りフラグgingシグナルを示す。
- ② アンテナに関わる判定方法やボールを取り戻す場合の判定方法を確認し、試合に臨む。